



平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年5月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 ティア
 コード番号 2485 URL <http://www.tear.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富安 徳久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 辻 耕平
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月13日 配当支払開始予定日 平成26年6月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

TEL 052-918-8254

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	4,874	6.9	608	7.9	580	9.7	354	9.4
25年9月期第2四半期	4,559	4.8	564	△9.4	529	△9.9	323	△2.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	38.88	—
25年9月期第2四半期	35.54	—

(注)平成25年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	8,884		3,136			35.3
25年9月期	8,504		2,873			33.8

(参考)自己資本 26年9月期第2四半期 3,136百万円 25年9月期 2,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年9月期	—	5.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成25年9月期期末配当金の内訳 普通配当 17円50銭 東証上場記念配当 2円50銭

(注)平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成25年9月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,900	11.0	980	4.3	880	4.0	540	4.4	59.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期2Q	9,112,000 株	25年9月期	9,112,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年9月期2Q	735 株	25年9月期	692 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期2Q	9,111,294 株	25年9月期2Q	9,111,442 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)平成25年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
前事業年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、底堅く推移する個人消費に加え、公共投資や住宅投資の増加と設備投資の持ち直し等により、緩やかではありますが回復傾向となりました。また、雇用や所得環境の改善等を背景に、回復傾向は持続するものと見られておりますが、株式市場の低迷や消費税上げに伴う国内需要の減退懸念等、先行きに対する不透明感は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は約30年間にわたり年々通増すると推計されており、直近の葬儀件数につきましても増加傾向で推移いたしました。一方、葬儀単価におきましては、核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向が続いております。また、都市部を中心に高齢化が急速に進行していることもあり、人生の終末や死別後の事前準備を担う葬儀業界への関心は今まで以上に高まるものと予想されます。

かかる環境下、当社は顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人材教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第2四半期累計期間におきましては、中長期目標200店舗体制の実現を目指すべく「新生ティア」をスローガンに掲げ、6項目の戦略テーマを推進してまいりました。新規会館につきましては、直営会館として名古屋市内に「ティア本陣」「ティア松葉公園」を開設したのに加え、大阪府寝屋川市に「ティア寝屋川」を開設いたしました。フランチャイズにおきましては愛知県半田市に「ティア半田北」を開設し、これにより直営39店舗、フランチャイズ33店舗の合計72店舗となりました。また、既存会館におきましては、葬儀ニーズの多様化に対応するために「ティア港」の改修工事を行い、小規模葬儀に対応した設備を増設いたしました。経費面では、原価低減の一環として取扱商品や仕入単価の見直しを行い、また業容拡大に伴う人材確保や、認知度の浸透を図る販売促進を積極的に実施してまいりました。

この結果、売上高は48億74百万円(前年同期比6.9%増)となり、売上原価率は前年同期と比べ0.5ポイント低下し、販管費は前年同期比8.7%増となりました。これにより、営業利益は6億8百万円(同7.9%増)、経常利益では5億80百万円(同9.7%増)、四半期純利益は3億54百万円(同9.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 葬祭事業

当第2四半期累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等を積極的に取り組んでまいりました。また、提携企業で特典や割引が受けられる等の会員向け優待サービス「ティアプラス」の充実にも努めてまいりました。葬儀件数におきましては、新たに開設した会館の稼働により、前年同期比5.1%増の3,731件と順調に増加いたしました。葬儀単価につきましては、葬儀付帯品の取扱いは減少したものの、葬儀の受注を担当する葬儀アドバイザーの増員や祭壇セットプランの見直し等により、前年同期比1.8%増となりました。この結果、売上高は47億29百万円(同6.0%増)、営業利益は8億85百万円(同4.0%増)となりました。

(b) フランチャイズ事業

当第2四半期累計期間におきましては、フランチャイズの会館が前年同期と比べ3店舗増加し、これによりロイヤリティ収入が順調に増加したのに加え、会館向けの物品販売も増加いたしました。また、紙面広告やウェブ広告を活用した新規クライアントの開発も積極的に実施いたしました。この結果、売上高は1億44百万円(同45.3%増)、営業利益は23百万円(同53.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は15億42百万円となり、前事業年度末に比べ1億73百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1億29百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は73億42百万円となり、前事業年度末に比べ2億6百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2億31百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、88億84百万円となり、前事業年度末に比べ3億80百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は23億7百万円となり、前事業年度末に比べ1億64百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が86百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は34億41百万円となり、前事業年度末に比べ47百万円減少いたしました。これは主に長期借入金金が66百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、57億48百万円となり、前事業年度末に比べ1億16百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は31億36百万円となり、前事業年度末に比べ2億63百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益3億54百万円及び剰余金の配当91百万円があったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	939,781	1,069,756
売掛金	212,044	238,577
商品	22,567	38,418
その他	204,740	207,020
貸倒引当金	△10,513	△11,561
流動資産合計	1,368,621	1,542,210
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,510,023	3,878,124
土地	1,291,021	1,291,021
その他(純額)	824,856	687,888
有形固定資産合計	5,625,901	5,857,033
無形固定資産		
投資その他の資産	133,716	131,039
差入保証金	1,082,578	1,055,646
その他	333,584	338,532
貸倒引当金	△40,000	△40,000
投資その他の資産合計	1,376,162	1,354,178
固定資産合計	7,135,780	7,342,252
資産合計	8,504,401	8,884,462
負債の部		
流動負債		
買掛金	262,156	314,712
短期借入金	86,668	110,000
1年内返済予定の長期借入金	1,170,032	1,187,880
未払法人税等	164,000	250,000
賞与引当金	78,469	87,206
その他	380,911	357,370
流動負債合計	2,142,236	2,307,169
固定負債		
長期借入金	2,918,575	2,852,264
資産除去債務	193,108	218,981
その他	377,475	369,946
固定負債合計	3,489,159	3,441,191
負債合計	5,631,396	5,748,361

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,750	580,750
資本剰余金	214,250	214,250
利益剰余金	2,078,265	2,341,405
自己株式	△307	△356
株主資本合計	2,872,958	3,136,049
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	47	52
評価・換算差額等合計	47	52
純資産合計	2,873,005	3,136,101
負債純資産合計	8,504,401	8,884,462

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	4,559,684	4,874,212
売上原価	2,932,283	3,110,005
売上総利益	1,627,400	1,764,207
販売費及び一般管理費	1,063,326	1,155,552
営業利益	564,073	608,655
営業外収益		
受取利息	2,743	3,846
その他	7,153	9,378
営業外収益合計	9,896	13,225
営業外費用		
支払利息	37,745	39,453
その他	6,919	1,666
営業外費用合計	44,665	41,120
経常利益	529,305	580,759
特別利益		
固定資産売却益	—	82
特別利益合計	—	82
特別損失		
固定資産除売却損	372	1,423
特別損失合計	372	1,423
税引前四半期純利益	528,933	579,418
法人税、住民税及び事業税	201,008	239,907
法人税等調整額	4,117	△14,741
法人税等合計	205,125	225,165
四半期純利益	323,807	354,252

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	528,933	579,418
減価償却費	179,308	189,994
貸倒引当金の増減額(△は減少)	754	1,048
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,241	8,737
受取利息及び受取配当金	△2,748	△3,852
支払利息	37,745	39,453
売上債権の増減額(△は増加)	△28,705	△26,532
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,611	△28,307
仕入債務の増減額(△は減少)	7,635	52,556
その他	20,908	6,283
小計	733,462	818,798
利息及び配当金の受取額	37	40
利息の支払額	△37,672	△39,019
法人税等の支払額	△208,627	△154,512
営業活動によるキャッシュ・フロー	487,200	625,306
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△252,906	△375,536
無形固定資産の取得による支出	△26,897	△17,288
差入保証金の差入による支出	△14,610	△403
差入保証金の回収による収入	23,381	31,147
その他	△4,550	△9,440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△275,582	△371,521
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	410,000	330,000
短期借入金の返済による支出	△363,668	△306,668
長期借入れによる収入	550,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△613,741	△648,463
自己株式の取得による支出	△43	△48
リース債務の返済による支出	△19,102	△8,279
割賦債務の返済による支出	△2,757	—
配当金の支払額	△79,337	△90,869
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118,649	△124,329
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,651	519
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	94,620	129,974
現金及び現金同等物の期首残高	1,138,201	939,781
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,232,821	1,069,756

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,459,951	99,732	4,559,684	—	4,559,684
計	4,459,951	99,732	4,559,684	—	4,559,684
セグメント利益	851,947	15,270	867,218	△303,144	564,073

(注)1. セグメント利益の調整額△303,144千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,729,261	144,950	4,874,212	—	4,874,212
計	4,729,261	144,950	4,874,212	—	4,874,212
セグメント利益	885,820	23,456	909,277	△300,622	608,655

(注)1. セグメント利益の調整額△300,622千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。